

1 学校教育目標

「自ら考え 自ら学び 豊かな心を持ち
力を合わせて たくましく生きる 児童の育成」

2 めざす子ども像・学校像・教職員像

(1) めざす子ども像

- 深く考え、真理を求める子ども
- 豊かな心情を持ち、礼儀正しい子ども
- 協働して、ものごとをやりぬく子ども
- 心身ともに健康で、明朗な子ども

(2) めざす学校像

- 楽しく活力ある学校
- 安心・安全で信頼される学校
- 地域とともにある学校

(3) めざす教職員像

- 豊かな人権感覚を持ち、子どもを大切にする教職員
- 子どもの成長を信じ、教育への使命感を持つ教職員
- 自己研鑽と協働に努め、専門性を高める教職員

3 学校経営の基本方針および取組の重点

山間部の小規模校である本校は、自然に囲まれ、地域に温かく支えられた、まさに地域とともにある小学校である。これまでも、家庭・地域と学校が連携し、地域の物的・人的資源を有効に活かした学習活動を展開する中で子ども達の成長を促し、学校教育目標の実現を目指して『価値ある本物の体験と学校教育活動の融合』を実践してきた。また、異学年合同授業や全校活動を通して、互いを理解し協働しながら、主体的かつ深い学びを実現する基盤を培うとともに、心身ともに豊かな成長を促しながら、学校教育目標の実現を図ってきた。

本年度も、積み重ねられてきた特色ある取組を活かし、学校教育目標の実現に向けて次の通り教育活動を行う。

(1) 「生きてはたらく力」を育む学習指導の充実

学習指導要領の具現化と学校の実態に応じた教育課程の実現を図り、学級経営、教科、道徳、特別活動、総合的な学習の時間、外国語活動の充実と相互の関連を工夫し、「生きてはたらく力」を育成する。

- ①個に応じた学習指導やICTの活用に努め、「子ども主体の授業」を日々実践し、学力の定着・向上と個性の伸長、多様な学びの実現を図る。
- ②体験活動と言語活動を結びつけ、自分の思いを自分の言葉で最後まで表現し、対話できる力を育てる。
- ③少人数学級、複式学級、インクルーシブ教育に適した教育課程の運用（児童理解、指導計画や指導方法等の工夫）を図る。
- ④児童の学習の状況を把握、分析し、学習指導に活用することで、指導と評価の一体化を図る。
- ⑤授業と家庭学習を結び付け、主体的な学習習慣を確立する。

(2) 豊かな心の育成

他者を思いやり互いの立場に立って考えることができる、豊かな心を育成する。

- ①心のこもったあいさつ、相手を敬う聴き方、思いやりのある言葉遣いの指導を重ねる。
- ②道徳教育、福祉教育、人権教育の充実を図る。
- ③いじめ、不登校が生じない組織的な相談・支援体制の確立と、SOSの出し方に関する教育の充実を

図る。

- ④読書活動の充実を図る。
- ⑤行事・体験学習の充実を図る。

(3) 健やかな体の育成

日々の生活や体育科、学校行事等を通して、自らを律し心身の健康増進と体力向上に励む児童の育成を図る。

- ①体育・スポーツ活動の充実を図り、体力向上に向け継続的な取組を進める。
- ②健康3原則（食事・運動・休養）の徹底と望ましい生活習慣の確立を図る。
- ③家庭と連携し、基本的な生活習慣の確立に向けた取組に努める。

(4) きめ細やかな児童理解と生徒指導の推進

愛情と信頼に基づく児童理解のもと、個に応じた指導や複式学級の経営、インクルーシブ教育を展開し、児童一人一人の自己実現と楽しい学校づくりを推進する。

- ①生活規律・学習規律の定着を図る。（返事、「あいさつ・聞き方・言葉遣い」）
- ②少ない人数に応じた児童の相互理解と望ましい集団活動を工夫する。
- ③児童一人一人の実態を正確に把握し、共感的理解と個に応じた指導に努める。
- ④『全教職員が全校児童の担任』として、共通理解を図り指導にあたる。

(5) 地域に根ざした学校づくりの推進

芦川の自然・歴史・文化・伝統を踏まえ、小規模校の良さを活かすことで、地域に根ざした学校経営・運営の推進と、地域とともにある学校づくりに努めるとともに、信頼される学校づくりをめざし、家庭・地域との連携を深める。

- ①地域の教育力の積極的な活用に努める。
- ②八代小・境川小・浅川中・保育所等との連携強化を図る。
- ③学校教育情報の家庭・地域への発信に努め、保護者や地域住民との情報交換を密にする。
- ④学校評価の充実と、評価の活用による学校改善を進める。
- ⑤関係諸機関との積極的な連携に努める。

(6) 教育環境の整備と充実

安全、安心を基盤とし、児童が生き生きと活動できるような、潤いのある教育環境の充実に努める。

- ①清掃・美化活動の徹底を図る。
- ②豊かな感性を育てる環境づくりを進める。
- ③環境にやさしい学校づくりを進める。
- ④学校事故等に対し即時に適切な対応ができるよう、「防災・安全計画」「危機管理マニュアル」「学校版タイムライン」の見直し、改善を進める。

(7) 教育研修の充実と働き方改革の推進

教職員が互いに支え合い高め合う教育研究を充実させ、楽しくわかる授業づくりを推進し、学力向上を図るとともに、教職員が率先して自身のウェルビーイングの実現に努める。

- ①校内研究を基盤とする校内研修の充実と活性化を図る。
- ②少人数学級や複式学級の効果的な指導法について学習し、理解を深める。
- ③各種研修・自主研修に積極的に取り組み、資質の向上、指導力の向上に努める。
- ④教職員間のコミュニケーションを大切にし、支え合い磨き合う仲間づくりを進める。
- ⑤教育DXの推進、業務効率化により、働き方改革を推進する。

【キャッチフレーズ】

○あいさつは、未来をひらく 第一歩